

石クリ通信

6月号

スタッフ紹介の巻 前篇

事務長 石川 都

今回は石川クリニックの仲間たちをご紹介します。

まず高山早苗さん、水戸からはるる通って来てくれているベテランの看護師さんです。日立総合病院(日病)の看護学校の先生や、保育園の病児看護の経験もあり、患者さんの話をよく聞いてくれる優しいお姉さんのような存在です。

もう一人のナースが地元金沢在住の澤田彰子さん。小学生から保育園児まで三人のお子さんの子育て真っ最中の元氣ママです。冷静沈着がよく気がつく澤田さんと明るい高山さんの絶妙なコンビは石川クリニックの目玉です。

そしてナースエイドの柴田さち子さんは、日病に長く勤務した経験のある、皆が頼りにする長姉的存在です。川尻町から朝一番に出勤し、クリニック周りの掃除から植栽の手入れ、尿検査補助やトイレ掃除まで、午前中のみで八面六臂の大活躍です。

医療事務担当の森絵里子さんは、昨年八月から勤務の、まだ初々しく年も一番若いマスコットの存在。でも実は福祉や精神科も学び接遇はピカイチ、笑顔の絶えない受付嬢です。

今回は石川ファミリーをご紹介します。乞うご期待・・・

苦手なモノ

事務 森 絵里子

先月、私は25歳の誕生日を東京デイズニールランドで過ごしました。デイズニールといえば夢の国。門をくぐれば可愛いキャラクターが大の苦手。正確にいえばキャラクターの「着ぐるみ」が苦手なのです。着ぐるみが近くにいるだけで恐怖です。原因は子どもの頃に見たサスペンスドラマ。犯人が遊園地の着ぐるみに扮して犯行に及んでいたのです。幼い私にはとてもショックで、その頃から着ぐるみは悪者だと思っようになりました。今となってはドラマの中の話の作り話だとはわかってはいますが、もしかしたら・・・と思うと怖くて近づけません。友人からは「あんな可愛いモノが苦手なんて理解できない」とよく言われます。良い克服方法があれば教えてください。

自分にご褒美

看護助手 柴田 さち子

一年に一回、友人5名とその他1名(96歳の母)で鶴の岬に泊ります。予約を取るのには、毎月1日だけ。電話をかけた後、早くして2、3時間は時間がかかります。予約は3ヶ月後。1年に1回の再会で、話は弾み、毎回12時過ぎ。一年間の家事、仕事を頑張ってきた自分にご褒美と。次の日は「うらら」に直行し、あつという間の二日間。また再会するのを楽しみに。

血圧計が故障?

院長 石川 悟

先日、当クリニックの患者さんの一人が「この血圧計で血圧を測ると毎回出る値が違う。いったい自分の正しい血圧はいくつなんだ。この機械は壊れているに違いない」と言っていました。確かに体重計にして、体温計にして、測定するたびに同じ数字が出るのに、血圧計だけおかしい、というわけです。医療関係者は血圧がすぐ変動することや、測定の仕方微妙に変わるのは当たり前と思っよう思っているが、「血圧はすぐ変動もするし、機械は壊れていない」と説明して一般の人に納得してもらおうのはなかなか難しい。

子供の腎臓の手術をする時など、大動脈を見ることができませんが、子供の動脈と高齢者の動脈の違いに愕然とします。子供の動脈は非常に細くて柔らかくて、弾力がある。大人のは、太くて硬くて、弾力がない。それに壁そのものが非常に厚くて内腔が狭い。このような血管で血液を流すのは大変なので、体が反応して、必死で圧力を上げて血液を流します。従って動脈硬化の人は、子供に比べて、血圧の変動が非常に大きいのです。

これからは血圧計が壊れている!と言われたら、「血圧計が壊れていると思うくらい、あなたの血圧は変動しやすいのです。」というつもりですが、それでも納得してもらえないかも・・・

変なこだわり

看護師 澤田 彰子

通勤や子供の送迎で、毎日運転しています。「車は多少汚れていても、走ればいい!」という考えなのですが、1つだけ変なこだわりがあります。ワイパーが嫌いなのです。雨の日の運転が嫌いなわけではなく、運転中にワイパーが視界に入ってくるのが嫌なのです。自分の車以外でも、対向車がちょっとした雨なのに、超高速でワイパーを動かしていると気になってしまいます。

だから洗車後の油膜取りと撥水コーティングは欠かせません。そのおかげで、雨の多いこの時期でも間欠ワイパーで快適な運転ができています。

昨年三月十二日

看護師 高山 早苗

震災の翌日の朝、近くのセブンへ行くこととシャッターが半分開いており一人のお婆さんが出てきた為入ると、「足元気をつけてください」と言いながらお店の人が割れものの片づけをしており品物もほとんどないのに快く売ってくれました。その後水を求めて水戸市役所へ行ってみると長い行列があり、役所内とその周りにはひどく被災して、配っていたのは簡易トイレと小さなパロア一個でした。「水はどこに行けば手に入りますか?」と聞く

と「さあ、避難所へ行ってみてください」と何の情報もくれない、あきれて近くの避難所に行くことと「避難した人の分けがありません」と。途方に暮れるとセイブの駐車場で食品を売っている様子で行列に並び、前の人から近くのやまやで水だけ売っているの聞き、買うことができました。並んでいる二時間弱の間に前後の人たちと仲良くなり地震に関連するたくさんのお話を聞けました。人の優しさや人とのつながりの大切さを実感した日でした。おわり。

面白くてためになる???

薬剤師 石川 恵

「漫画(ゲーム)ばかり読んでないで勉強しなさい!」と、子供さんに言った経験がある人も多いのではないのでしょうか。確かに、長い目で見たら、あの間違ひなく勉強の方が有意義でしょう。ただ、あの熱中具合を勉強の方に繋げられたら素敵です。と、いうわけで、今回は(もしかししたら)ためになる(かもしれない)、かつ面白い、歴史的な作品を元にした娯楽を紹介したいと思います。

・「最遊記」/峰倉かずや ご存知「西遊記」を元にした漫画です。三蔵達4人がかつてないほどの不良ですが、みんな美男子です☆(笑)彼ら4人が天界にいた頃(前世)の話も魅力的です。・真・三国無双 「三国志演義」を題材にしたアクションゲームです。武将を操り敵と戦うのですが、戦いの最中に短話も混ざり、魏蜀呉の武将から「三顧の礼」「桃園の誓い」などもごく自然に覚えられます。

「そういうものは脚色してあるんだから原作を読むべきだ。」と思われられるかもしれませんが、初めから原作となるとやはり敷居が高く敬遠しがちです。そして意外に夢中になると「本物」にも興味が湧いてきたりするものです。事実、私も漫画などに影響されて原作を購入した作品がいくつもあります。たかが遊び、されど遊び。ということ、皆さんもこの娯楽に対する熱意を有効活用されてはいかがでしょう。以上、遊び人の言い訳でした。

浅草橋

事務 石川 香



浅草橋は何で有名な場所かご存知ですか?浅草の近く...でもあるのですが、それよりもアクセサリーのパーツで有名なのです! チェーンやパワーストーンを始め、ネックレスやイヤリングが作られる、小さな小さなパーツのすべてが開き、そこに次のパーツを通して繋いでいく、というのが基本の作り方です。右の写真は私の手作りアクセサリーです。受付の隅っこに、石川アクセサリーショップを作ろうかしら・・・